

ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告（Ⅳ）

A New Promotion of Soft Tennis in Community-Based Sports Clubs（Ⅳ）

畠 山 孝 子

HATAKEYAMA Takako

北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報 第11号 2020

Bulletin of the Northern Regions Lifelong Sports Research Center Hokusho University Vol. 11

ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告 (Ⅳ)

A New Promotion of Soft Tennis in Community-Based Sports Clubs (Ⅳ)

畠山 孝子

HATAKEYAMA Takako

キーワード：地域密着型スポーツクラブ，地域貢献，ソフトテニス，北広島町

I. はじめに

本研究では、ソフトテニス競技の地域密着型スポーツクラブを事例研究している。研究対象としたのは広島県北広島町に籍を置く「どんぐり北広島」ソフトテニスクラブである。チームが北広島町に移住しクラブが誕生したのは2016年である。

2017年には、チーム誕生の基盤を築いた一般財団法人どんぐり財団¹⁾ (以下「どんぐり財団」と称す) は、日本初の地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」の設立の功績が認められ、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会スポーツ振興賞日本商工会議所奨励賞を受賞した。受賞について選考委員は「スポーツ (ソフトテニス) を通じて地域住民はもとより町ぐるみの地域振興を進めている、他の地域に参考となるまちづくりの模範的事例である。クラブ設立で、少子高齢化が進む2万人足らずの町に若い選手や指導者が移住するといった効果も出ている。全国から合同合宿や試合、指導を受けにと、小学生から社会人まで多数の人々が訪れているほか、外国チームを招聘した大会も開くまでになっている。地域への持続的な社会・経済波及がさらに進むことが期待できる」²⁾ と説明している。

本研究はこれまで、チームの地域での様々な取り組みを紹介するとともに、ソフトテニス競技の発展にも先駆的な役割を果たしていることを報告してきた。今回は、スポーツ奨励賞受賞理由の一つに挙げられた「全国から合宿や大会、講習会に多くの関係者が集まる」ことに着目し、チームによって地元で開催された講習会・合同合宿・合同練習・大会の開催を中心に報告する。チームの地域での活動を通して、地域密着型スポーツクラブの意義を考える機会としたい。

II. 「どんぐり北広島」ソフトテニスクラブの地域での取り組み

1. 地域密着型スポーツクラブとしての歩み

2016年3月に地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」が北広島町に誕生する。誕生に至った背景にはチームの前身であるNTT西日本ソフトテニスチーム時代から北広島町とチームが時間をかけて育んできた地域との交流と、時機を得たタイミングの良いどんぐり財団の構想があった。この間に築かれた地域との強い繋がりが、チーム誕生後今日までの地域密着型スポーツクラブとしての活躍の礎となっている。地域密着型スポーツクラブ誕生までの経緯は、2017年に実施したどんぐり財団理事への聞き取り調査から「ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告 (Ⅰ)」³⁾ に記した。どんぐり財団の存在や北広島町戸谷地域営農組織による米の提供、「日本一の田んぼ」の提供や地域の応援者のお弁当や食事、応援グッズの提供、地域の人々が企画した選手の成人式の開催⁴⁾ などチームを見守る地域の温かい支援の形は、この事例の大きな特色と言える。

2018年には、北広島町は「平成30年度きたひろ応援ファン事業」としてふるさと寄附型の募集を実施した。チームは「ソフトテニスを通じた地域活性化」事業の申請を行ない、町のふるさと納税を活用してのチーム支援の形が整った⁵⁾。

また、この年、チームの所属選手はアジア大会において優勝し、金メダルを北広島町に持ち帰った。チームの国際大会での活躍によって、それまで課題であった北広島町内でのチームの認知度は一機に高めることとなった⁵⁾。

北広島町は、2005年に芸北町、大朝町、千代田町、豊

1) 北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科

平町の4町が合併した町である⁶⁾。このような地域性に加えて、チームとの交流はこれまで主に豊平地区で行われていたことから、町全体での認知度は低かった。しかし、アジア大会の金メダル獲得によって、チームの知名度は一機に上がり、チームによる地域貢献は勢いを増すこととなった⁵⁾。

チームは北広島町を拠点にソフトテニスの競技性において先駆的な取り組みを行っている。チームはオールラウンドなプレイスタイルに女子選手として最初に取り組み、このプレイで大会実績を上げている。また、チームには大会の応援に駆け付ける北広島町民が多くいることや、ソフトテニスの競技方法を知らない応援者に対しての工夫と配慮が行なわれている。このようなチームの取り組みは、ソフトテニスを「実施して楽しい、観ても楽しい」スポーツに発展させる先駆的な取り組みであると考えられる⁵⁾。

2. ソフトテニス関係者が北広島町に集う

—2017年から2019年の実績を参考に—

チームが数多く実施する講習会や合同合宿・合同練習の開催を、「実はこれにどん北（どんぐり北広島ソフトテニスクラブの略称）の強さがあるんです。人に伝える事は大変難しい事です。まずは自分が理解し、整理しながら選手は指導しています。毎日が勉強です。」⁷⁾と監督は位置づけている。

そこで次に、2017年から2019年の講習会と合同合宿・合同練習会の取り組みを、ホームページに掲載された内容と、関係者へのインタビューから得られた資料を基に検討する。

(1) 講習会の実施

チームが開催する講習会の様子を伝えるホームページの記事は2017年19回、2018年13回、2019年14回計46回掲載された。これによると北広島町で開催された講習会には、地元の中学生や高校生はもちろんのこと、東京都、島根県、岡山県、香川県からも参加している。地元以外での講習会は北海道・新潟県・宮城県・福島県・岡山県・広島県・山口県・島根県・長崎県・鹿児島県など全国各地で実施されている。講習会の対象者は小・中・高校・大学生から一般まで幅広い。また、対象者の競技力も初心者から全国大会出場者まで多岐に及ぶ。

選手強化を目的として継続的に実施されている講習会も多いが、今回は、地元北広島町で実施している地域に密着した講習会に注目した。

① 総合型地域スポーツクラブ芸北道場

2018年に芸北地区において初めての講習会が「総合型地域スポーツクラブ芸北道場」の一環として開催された⁸⁾。翌2019年6月にも芸北運動公園での講習会を実施

した⁸⁾。また、豊平総合運動公園において開催された日本のトップチームとの合同合宿に6月の講習会に参加した芸北の高校生が見学、応援に来るなどの交流¹⁰⁾が行われた。7月には、芸北中学校において監督の講話と講習会を実施¹¹⁾、8月には芸北の高校生と近隣中学生との合同練習が豊平総合運動公園において開催された¹²⁾。

このように2018年に始まった芸北地区との交流は、2019年には更に盛んになりチームと芸北地区の繋がりを強くした。豊平地区から始まった北広島町におけるソフトテニスを通しての活動は、芸北地区にも広められている。

② 北広島町豊平中学校指導

2017年7月からは、チーム誕生当初から繋がりの強い豊平地区では中学生を対象に監督初め選手全員による「何より地域を大切にを合言葉にして」¹³⁾指導が行われている。ソフトテニス部員の募集を停止していたこともある豊平中学校は、チームからの応援をうけて県大会に出場を果すまでになった。現在は、総合型スポーツクラブどんぐりクラブ屋台村¹⁴⁾のキッズソフトテニスに参加している選手も多い。

③ みんなのソフトテニス教室

2019年12月からはスポーツ庁委託事業として北広島町のスポーツコミッションどんぐり財団主催のソフトテニス教室が4回開催された。年齢・障がいの有無に関わらずだれでも参加できる教室としてスタートした。この教室にはソフトテニスを始めて体験する人や幼児、小・中・高校生、一般、高齢者と幅広く参加した。「このような教室を今後も続けていく事が、ソフトテニス競技普及の第一歩ととらえています。皆様が楽しかったー！またやりたーい！と言われた事が本当にうれしいです。これからも、このような教室を打ち続けたいと思います。」¹⁵⁾と講習会終了後のホームページには記されている。

④ どんぐり屋台村講習会

総合型スポーツクラブどんぐりクラブ屋台村主催の講習会は、地域密着型スポーツクラブとしてスタートする以前からどんぐりクラブ屋台村が主催し、チームが協力して開催されていた講習会である。回を重ね発展し今日に至っている。どんぐりクラブ屋台村は設立16年目の総合型地域スポーツクラブである。「広島県北広島町どんぐり村でソフトテニスなどのスポーツや文化教室、カープのウエスタン・リーグ公式戦や季節のイベントを行っている」¹⁴⁾。講習会は月に1回、豊平総合運動公園を会場に開催される。初心者から熟練者まで、北広島町はもちろんのこと近隣地域からの多くの参加者で実施されている。2018年5月の講習会には、地元中学生を始め広島県、岡山県、香川県の中高生が100人程参加した¹⁶⁾。(写真1.) 2020年からはどんぐり北広島ソフトテニスクラ

ブが主催者となっていて行われている。

⑤ ちよスポどん北クリニック

2016年11月からは千代田体育館において監督と選手による「ちよスポどん北クリニック」が毎週木曜日にスタートした。参加者は初心者から上級者まで町内外から北広島町に集う。2020年7月には、この講習会参加者を対象に、第1回ちよスポ杯どん北クリニック大会が開催された¹⁷⁾。

(2) 合同合宿・練習会

チームとの合同合宿や合同練習会の様子を伝えるホームページの記事は2017年9回、2018年6回、2019年11回掲載されている。実施場所はチームのホームコートである豊平総合運動公園である。チームとの練習を目的に北海道・新潟県・宮城県・福島県・岡山県・広島県・山口県・島根県・長崎県・鹿児島県など全国各地から、ソフトテニス関係者が北広島町を訪れている。これらの団体は小・中・高校・大学生から一般のチームまで様々である。また、対象者の競技力も初心者から全国大会出場者まで幅広い。



写真1 豊平総合運動公園で実施されて講習¹⁶⁾



写真2 第5回ソフトテニス女子北広島カップ大会をYouTubeで配信¹⁸⁾

(3) 大会の開催

現在、北広島町では3つの大会が開催されている。大会会場は豊平総合運動公園の他に千代田運動公園、芸北地区のテニスコートなど北広島町全域の施設が使用される。

① ソフトテニス女子北広島カップ大会

日本のトップ選手が北広島町に集い、毎年11月どんぐり財団主催で開催されている。2018年開催の大会には約300名の観戦者があった。「みるスポーツ」としてソフトテニスは、北広島町において多くの観客を動員するスポーツとして発展している。

2020年はスポーツ庁スポーツによる地域活性化推進事業の採択を北広島町が受け、どんぐり財団主催で開催された。新型コロナウイルス予防対策を万全にしての実施である。観客は100名に限定されたが大会の様子はYouTubeで全国にライブ配信された¹⁸⁾。(資料1. 写真2)

② 第1回ちよスポ杯どん北クリニック大会

この大会は前述の「ちよスポどん北クリニック」の参加者を対象に実施された。盛況のうちに終了し通年開催を望む声が多いと聞く。

③ どんぐり北広島全国中学生ソフトテニス大会

2018年から毎年、中学生を対象に北広島町、どんぐり財団主催で開催されている。広島県内外(広島県・島根

スポーツ庁 スポーツによる地域活性化推進事業

城山ホテル鹿児島
ワタキューセイモア
どんぐり北広島

第5回ソフトテニス女子北広島カップ大会
2020.11.21(土)9:00～
豊平総合運動公園体育館
【入場料】無料【プログラム料金】一冊300円
※観覧席での観戦は先着100名限定(電話での事前予約が必要となります)

特別企画 大会模様をYouTubeでライブ配信! QRコードから視聴可能!
大型モニターで観戦!
豊平運動公園・千代田運動公園の体育館ロビーに大型モニターを設置します!
(ソーシャルディスタンス確保の為、人数を制限しながらいります)

感染症対策実施中 会場ではマスク着用のご協力を
ご依頼いたします。
-体調がすぐれない場合は37.5度
以上の発熱がある場合はご来場
を断念いただきご帰宅をお願いします。

後援(予定): 文部・科学・スポーツ庁 広島県ソフトテニス連盟 北広島県教育委員会 北広島県体育協会(株)むらじ(株)どんぐり村(有)北広島市・ヨネックス(株)
(株)ルースト(一社) 芸北沼場 総合運動場SC大瀬(有) 千代田総合運動場入来・ツクラブ 総合運動場SC入来ツクラブ 総合運動場SC入来ツクラブ

どんぐり財団 千731-1712
広島県山県郡北広島町志見12609 TEL 0826-84-1414

資料1 第5回ソフトテニス女子北広島カップ大会のポスター¹⁸⁾

県・鳥取県）から300名を超える選手と保護者、関係者が北広島町に集い熱い戦いを繰り広げている。大会運営はチーム全員で行う。大会会場は豊平総合運動公園、千代田運動公園、芸北地区である。大会後にはチームによる講習会形式での指導が行われ、ジャンボカップ焼きそばなどが振舞われるなど、中学生にとっては楽しい一日となっているようだ¹⁹⁾。

北広島町はソフトテニス関係者が全国から集う地域になった。町には、チームが出場する大会を応援したり、ソフトテニスを実際に体験して楽しんだり、トップ選手の試合を観戦し楽しむなど、ソフトテニスに様々な形で関わる人々が増えた。また、中学生や高校生がソフトテニスの大会で活躍する地域となってきている。チームがソフトテニスを通して北広島町にもたらした社会的・経済的効果が大きい。

チームもまた地域密着型スポーツクラブとして北広島町と強く結びつき、地域の社会的・経済的支援によってチームの力を高めている。

Ⅳまとめ

本研究では、ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブとしては初の事例である「どんぐり北広島」ソフトテニスクラブを対象に調査研究を行った。地域密着型スポーツクラブとして発足から5年間、チームはソフトテニスを通じて地域での活発な活動を展開している。中でも、地元での講習会の開催や合同合宿・合同練習会、大会開催は、毎年、全国からこの地域に多くのソフトテニス関係者が集まり、地域の活性化を進めている。

また、地域の中においても、各地で開催される大会の応援に駆け付ける人々や、地元で開催される全国トップレベル選手が集う大会を観戦しソフトテニスを楽しむ人が増えている。中学生や高校生がソフトテニス大会で活躍することも多くなり、競技経験も年齢も問わずソフトテニスを楽しむ環境が北広島町に築かれている。これまでの認知は低かった地域での講習会の開催によって、地域全域に活動が広がっている。地域でのチームの取り組みは北広島町に社会的・経済的な効果をもたらしているようだ。

ソフトテニス競技の普及の視点からも、北広島町がソフトテニスの愛好者を増やし、応援者を増やしてソフトテニス競技の普及に貢献していると言える。

本研究では、ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの意義を、「どんぐり北広島」ソフトテニスクラブを事例に継続的に調査し検討を行ってきたが、今後更に検討を重ねて、ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの真価を追求する必要がある。

付記

本研究は、令和2年度北方圏生涯スポーツ研究センター・センター選定事業として実施した。申告すべき利益相反はない。

引用文献

- 1) 一般財団法人 どんぐり財団ホームページ：http://kh-donguri.or.jp/（2020.12.28参照）
- 2) 公益社団法人 スポーツ健康産業団体連合会ホームページhttps://www.jsif.or.jp/s_jsif/m_jsif_2.html 2021.1.15参照
- 3) 畠山孝子：ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告（Ⅰ）. 北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報, 7:181-183, 2016.
- 4) 畠山孝子：ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告（Ⅱ）. 北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報, 8:105-109, 2017.
- 5) 畠山孝子：ソフトテニス競技における地域密着型スポーツクラブの調査報告（Ⅲ）. 大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報, 10:29-32, 2020.
- 6) 北広島町ホームページ：https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/ 2017.11.24参照
- 7) 地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」ホームページ：http://donguri-zaidan.sakura.ne.jp/wp 2016.12.24参照
- 8) 同上（2018.7.15掲載）
- 9) 同上（2019.6.9掲載）
- 10) 同上（2019.6.22掲載）
- 11) 同上（2019.7.8掲載）
- 12) 同上（2019.8.31掲載）
- 13) 同上（2017.7.11掲載）
- 14) 総合型スポーツクラブどんぐりクラブ屋台村ホームページ：http://yataimura.net/page-（2021.1.15参照）
- 15) 地域密着型ソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」ホームページ（2018.12.23掲載）
- 16) 前掲（2017.5.21掲載）
- 17) 前掲（2020.9.22掲載）
- 18) 前掲（2020.11.21掲載）
- 19) 前掲（2019.9.21掲載）